

「アスペルガー症候群」もしくは「アスペルガー障害」という言葉を聞いたことがありますでしょうか？ 最近では ASD（自閉症スペクトラム障害）という言葉で一括りにされることもある発達障害の一種です。

実は私もこの言葉ははじめて聞いた際に、この障害に顕著な以下の特徴を読んでみて、当てはまる言動の者がいるなあ、変わった方だと思っていたけどそういうことか。うまく指導できる方法がないかなあ、難しそうだけど。・・・というような感じでした。

その後、周囲にはアスペルガー症候群と思われる方が結構存在することにも気づき、ケース（症状）は多々あるもの、対処法を考えながら、そんな方々となんとか付き合っています。

アスペルガー症候群とは、1944 年、オーストリアの小児科医ハンス・アスペルガー医師が論文として発表した障害で、その特徴的な行動は、

- 社会常識やマナーを知らない行動をする
- 興味のあることは熱中して頑張るが、それ以外のことはさっぱり
- 物事へのこだわりが強く、臨機応変な対応がうまく出来ない　・・・などです。

アスペルガー症候群は症状が平常と障害の境界線上にある場合も多く、優秀な面も多いが自分勝手だと曲解されるケースもあり、本人が自分はアスペルガー症候群だと理解していることは稀であり、自分の態度や行動が周囲の方と比べて随分変わっているとすら気づいていないことも多いのです。故に、アスペルガー症候群かどうかの判断そのものは難しいのですが、職場に時々いるちょっと変わった方や、何であんな行動をするのかと思っていた相手も、実は発達障害だったのだと理解すれば、接し方も変わるのではないのでしょうか。

では、アスペルガー症候群の特徴をもうちょっと掘り下げてみましょう。

- 指示されたことは一生懸命こなす
- 言われたこと以外は興味があればやるが、そうでなければ仕事であっても手をつけず、決して、それが悪いことだとは思っていない
- おかしな態度や行動を注意されても、自分が変だとは思っていないので直らない
- しゃべり出したら人に口を挟ませず、つまりは人の話が聞けない、寧ろ人の話を遮ってでも、自分の考えを伝えようとしたり、主張を通そうとする

など、顕著な特徴があります。

言動の全般に亘って、本人には全く悪気がないので、注意されても、何故注意されるのかを理解できません。また、あきらかに障害ではありますが、病気というより、頭の働きの特徴だとして理解したほうが、アスペルガー症候群の方への理解が深まりそうです。

アスペルガー症候群の方には誠に可哀想な話ですが、そんな方が周囲にいても、身内でもない限り、当然ながらアスペルガー症候群なのだとは知りえないし、単純に、こんな奴の相手をしていられないよと切り捨てるケースは多々あるでしょうし、友人の場合だって、腹が立つなら付き合いなければ済んでしまいます。というか、程度にもよりますが、真の友人を作るのはアスペルガー症候群の方にはかなり難しいでしょう。

でも、職場や学校であればそうはいきません。たとえ、ちょっと変わった方だとしても、頭から変な奴だと思い込んで切り捨てたりせず、相手がアスペルガー症候群なのだとして理解した上で、その特徴をよく理解し、多くを求めずに、本人が出来ることをお願いするなど、適切な関係を保ち、うまく付き合っていくことは可能なのではないのでしょうか。

研究家の間では、アスペルガー症候群のことを、知的障害のない自閉症とか、高機能自閉症として分類することもあり、症状が重い場合は、相手の表情（微笑み、驚き等）の意味するところが全く理解出来ないとか、相手とのアイコンタクトが全く出来ないというような特徴を示すことがあるようです。

つまりは、アスペルガー症候群の方に対しては、きちんと言葉にして、できれば文字としてきちんと要件を伝えなければ、こちらの意図が全く伝わらない可能性があるということです。

また、曖昧な言葉のニュアンスはもちろん、行間、裏の意味を理解することは苦手というか、ほとんど不可能なので、例えば、失敗した際に励ましとして「頑張ったのだから結果は気にしなくいいよ。」と慰めたりしたものなら、それを真に受けてしまい、その後は、一切結果を気にしなくなったりすることが普通にあるそうです。その後、別な仕事の際に「なんで努力して結果を出そうとしないのか。」なんて言いでもしたら、「〇月〇日に、結果は気にしなくていいよと私に言ったじゃないですか。」と正確な記憶を元に非難される羽目になります。

とはいえ、健常者とのボーダーライン上にいるケースも多いので、たとえ周囲の方がアスペルガー症候群の特徴を示していたとしても、ほんのちょっとだけ変わっているだけであれば、まずは、致命的な障害ではないけど、多少、学習障害や注意欠陥がある者くらいの理解で接してあげるべきなのです。

ということで、今一度、この障害の特徴を確認してみてください。

- 興味があること、得意なことには集中力を発揮し、仕事は早い
- 指示が理解出来れば、一生懸命やる
- 性格が悪いわけでもなんでもなし（少なくとも本人はそう思っていない）
- 一方的にしゃべり、人の話は聞かない

やっぱり、自分の周囲にもいるよ。・・・そうは思いませんか。

「なんで、こんな簡単なこと、出来ないのかな。」そんなふうに怒ってはいけません。

指示やルールをマニュアルのように細かく噛み砕いて理解させれば、ある程度の行動は出来るはずですが。問題行動があれば、何故その行動がいけないのか。社会のルールや常識からどうはずれているのかを細かく説明してみましょう。

以前、無断欠勤を続ける部下を何とかして欲しいと、上司の方から相談を受けて、無断欠勤し、電話にも出ない社員と、何とか伝手をたどって連絡を取り、私が事情を聞いたことがありますが、既に30歳になっている新入社員でもないその彼が、何と「上司に断らずに仕事を休んではいけないというルールがあるのを知らなかった」と真顔で言ったことがあります。言い訳でもなんでもなく、そんなことは会社に入ってもだれも教えてくれなかったので知らなかったと。それがアスペルガー症候群なのです。一般の常識は通用しません。

その社員は、自分の意に沿わない下請社員や派遣社員を、頻繁に怒鳴るなど、明らかに自分より下にみる態度で接し、人を人間として見下したり、馬鹿にしてはいけないという常識が世間にはあるのも知らず、職場では完全に問題児でした。

世の中には、この社員と同じように部下や後輩、下請を怒鳴ってはいけないことを知らない方は大勢います。でも、障害の程度によっては、寧ろその集中力により成果を上げ管理職になっている方も多いのですが、さすがに今の時代ではトラブルの現況でしかないのです。

幾らコンプライアンス教育をしても、行動を改めず、周囲とのトラブルを何度も起こす社員がいたら、まずはアスペルガー症候群ではないかと疑う必要あると私は確信していますが、企業の人事にアスペルガー症候群を理解している方がほとんどいないのも現状です。アスペルガー症候群故の言動は、立場の弱い者をいじめてはだめだよという教育では決して直りません。

例えば、外国暮らしの長い方を採用すると、勤務時間中にどうどうと自席で食事をして、とがめても「えっ、何故いけないのですか？」なんて態度を示す方がいたりしませんか？

そんな方は、別にアスペルガー症候群なのではなく、本当に日本社会の常識を知らないだけです。でも、アスペルガー症候群の方もそれと同じようなもの、日本で育っても日本の常識を教わらなかったやつ。くらいに思えば、多少理解が進むのではないのでしょうか。

もちろん、それだけで問題が解決するわけではありませんが。

人をアスペルガー症候群と似ている状況に陥らせるものとして、心理学用語でスキーマというものがあります。スキーマを日本語で言い換えるなら、よく言えば「自動思考」、悪く言えば「思い込み」「先入観」となります。

箸やフォークを見たら、食事の道具、椅子を見たら座る道具と今の日本人なら誰でもわかるでしょう。それは人の心にスキーマがあるからだそうです。でも江戸時代初期の日本人なら箸は使えても、フォークや椅子が何なのかはわからないかもしれません。子供の頃から身の回りにある習慣であればスキーマがうまく機能し、身に付けることが出来るのです。

私が勝手に想像するに、おそらくアスペルガー症候群の方はこのスキーマがうまく機能しないことと関係があるのかもしれない。そういう意味ではやはり発達障害なのです。スキーマの悪い例は、例えば、失敗＝人生の終わりというような自動思考が働くことです。

マイナス思考のスキーマが強い方を救うには、「失敗しても次の機会があるよ」「命まで奪われることはないよ」と楽観論を伝えるしかないのですが、アスペルガー症候群が原因であるのなら、そんな気休めの言葉には全く効果がないのかもしれない。

「そうですね。次は頑張って、仕事の失敗は仕事で返します。」と応じてくれる方であれば、アスペルガー症候群ではない可能性がありますし、多少そのけがあっても軽いでしょう。

アスペルガー症候群の方には、以下の特徴もあります。

- 言葉を額面どおりに受け取る
- 些細なことにこだわる

つまりは、行間を読むことが苦手。でも、厳正にルールを守る（但し自分が正しいと思いきんルール）ということでもあり、ITのように順序だったものや規則的なものにうまく興味を持つことが出来れば、隠れた才能が引き出せる可能性もあるのです。

逆に、アスペルガー症候群の方は、予想外のこと、予測不可能な出来事や、不合理なことを非常に嫌うのです。というか理解できないのです。

まあ、アスペルガー症候群の方が失敗をしたり、指示に従わなかったからといって、怒っても何も解決しない。それだけは確かなようです。もしその失敗が周囲に大きな影響を与えるようであれば、失敗しても問題のない、周囲に影響を与えない仕事に配置を変えるしかないのだと私は思います。

でも、あなた自身に周囲の方々を出来るだけ理解しようという気持ちがあり、その方が明らかにアスペルガー症候群の特徴を示しているのなら、今まで、ちょっと変わっているなと思っていた方とのコミュニケーションを改善し、その方の能力を引き出してあげられる可能性があるのです。前向きな行動をするか、しないかのカードは、明らかにあなたの側にあるのです。